様式2　　平成27年1月28日

平成26年度　評価計画及び自己評価

（ 計画 ・中間 ・(最終) ）　　広南中学校区　校番　2　学校名　呉市立広南中学校

a　学校教育目標	<広南学園> 自立に向かって 主体的に生きる 「学び」と「ありがとう」 の日本一を目指して	b　経営理念 ミッション・ビジョン	〈ミッション〉 （学校の使命）	大きな夢と志を持ち， 社会に貢献する人材を育成する
			〈ビジョン〉 （将来の学校像）	○深い学びの精神と感謝の気持ち，社会貢献への気概をもつ児童生徒を育て，地域から信頼される学校 ○地域文化の拠点として地域の活性化に貢献する学校

c　中期経営目標を踏まえた現状（進捗状況）と今年度の重点	広南中学校（広南学園）としてスタートして3年目を迎える。校訓など学校のもつ伝統と文化・地域性を基盤として，今年度は「**温故挑新**―故（ふるさと）を温め，新しきに挑む」をキーワードに，生徒の郷土愛を深めるとともに，探究心・挑戦心を引き出し，広南地区の活性化に貢献し「広南中学校」の生徒として誇りをもてるような特色ある学校文化・校風を創造する。 また，県中学校理科研究大会の会場校となる機会を利用し，理科教育の充実を図る。

評価計画（中期経営目標を設定してから　1　・　(2)　・　3　年目）						自己評価					
重点	d 中期（3年間）経営目標	e 短期（今年度）経営目標	f 目標達成のための方策（こんなことをして達成します）	g 指標（効果を見とる目安）	h 目標値	9 月			2 月		
						i 達成値	j 達成度	k 評価	i 達成値	j 達成度	k 評価
★★★ 確かな学力の育成	(貫) 義務教育9年間を見通した学力を育成する	「習得・活用・探究」を手がかりとした授業改善	・相互参観（参加）授業による切磋琢磨（週一回） ・広南中授業モデルづくり	生徒アンケート「探究」の項目の肯定的評価	90%	60%	67%	C	68%	76%	C
		学習意欲の向上	・TT授業など生徒への個別指導体制を充実させる。 ・帰りの会学習を組織的・計画的なものに充実させる。 ・ICT活用の研修と導入	生徒アンケート「学習への意欲の向上」の項目の肯定的評価	90%	74%	82%	B	86%	96%	B
★★ 豊かな心健やかな体の育成	礼節と思いやりを誇り，体力づくりに主体的に取組む生徒を育成する	(貫) 広南しぐさ・生活習慣の改善指導の徹底	・1年生からの面接指導（年3回） ・生徒会活動の充実による自律的な校風作り	生徒アンケート「4項目」に係る肯定的評価	90%	91%	101%	A	91%	101%	A
		(貫) 体力の向上	・体力強化キャンペーンを実施（2回） ・部活動(文化部も)で，走力を高める活動内容の充実	・新体力テストの総合得点を呉市平均＋2点	100%	99%	99%	A	99%	99%	A
		挑戦心の高揚	・資格習得「トリプル3」 ・文芸作品県入賞3作品 ・作文等新聞掲載3作品 ・学校賞等の活用	・トリプル3を達成した生徒(5名（H25）→6名） ・生徒アンケート「挑戦意欲」に係る肯定的評価	90%	69%	77%	C	78%	87%	B
★ 信頼される学校	(貫) 地域に貢献し活力を生み出す学校をつくる	「健康の町」づくりへの貢献	・広南せとうち物語づくり ・私たちの町づくりトライアルへの応募	「健康の町ひろみなみ」へのイメージアップに貢献したと実感する生徒・教職員の割合	100%	77%	77%	C	90%	90%	B
		「絆の町」づくりへの貢献	・ボランティア活動の充実 ・家庭・地域を視野にいれた取組	「絆の町ひろみなみ」へのイメージアップに貢献したと実感する生徒・教職員の割合	100%	84%	84%	B	90%	90%	B
		「芸術の町」づくりへの貢献	・広南せとうち物語づくり ・広南芸術鑑賞会の実施 ・広南劇場・創作劇（文化活動発表会）	「芸術の町ひろみなみ」へのイメージアップに貢献したと実感する生徒・教職員の割合	100%	80%	80%	B	91%	91%	B

【k：評価】
A：100≦（目標達成）　B：80≦（ほぼ達成）＜100
C：60≦（もう少し）＜80　D：（できていない）＜60

様式３

平成27年1月28日

平成26年度　結果の分析及び今後の改善策

（　中間・最終　）

広南中学校区　校番　２　学校名　呉市立広南中学校

重点	d 中期（3年間）経営目標	e 短期（1年間）経営目標	l 結果の分析（結果と課題をこう考えます）	m 今後の改善策（案）（こう改善します（案））
★★★	（貫）義務教育9年間を見通した学力を育成する	「習得・活用・探究」を手がかりとした授業改善	○探究を手がかりとした学習展開についての授業モデルを広南学園で作成し，授業改善に生かせた。 ○相互授業参観の継続。 ○「習得・活用・探究」を手がかりとした授業について，各教科での取組の継続。	○各教科において，探究を手がかりとした授業についての成果と課題をまとめて，全体に提示することで，さらに授業改善に生かしていく。
		学習意欲の向上	○TT指導において，授業内容が理解できにくい生徒の学力補充。 ○ICTのを活用したりすることにより，わかりやすい授業の工夫。 ○職場体験学習（2年），高校入試に向けてのキャリア学習（3年）の効果。	○ICTの活用が全体のものになっていないので，3学期に研修を行う。
★★	礼節と思いやりを誇り，体力づくりに主体的に取組む生徒を育成する	貫 広南しぐさ・生活習慣の改善指導の徹底	○相手を大切にした礼節が定着してきている。 ○特に掃除については，ボランティア活動せとうち海援隊をはじめ，日頃の掃除等，意識が高まっている。	○新生徒会の自主性を育て，更に「広南しぐさ」を全生徒自らのものにしていく。
		貫 体力の向上	○新体力テストの合計点を平成25年度呉市の合計点と比較すると全学年の平均は＋1．76で上回っている。3年男子は，＋6．28と大きく上回っている。1年男子－1．12，3年女子－2．67で，特に3年女子は，2年次よりも－3．80と下がっている。 ○1年の基礎体力を付ける取組と，部活動が終了した3年の体力維持と運動量の確保が課題となる。	○保健体育の授業の中に基礎体力を付ける補強運動や補助運動を学習内容によって，積極的に取り入れる。 ○体力つくりキャンペーンを少しハードな内容にし，期間を長くする。 ○部活動では，1・2年の新人大会に向けての意欲を高める指導・助言を丁寧に行う。
		挑戦心の高揚	○各種検定（トリプル3）を受験した。 漢字12名（うち合格4名） 数学12名（うち合格9名） 英語19名（うち合格17名） 理科　5名（うち合格3名） ○ロボットコンテストや理科検定に生徒が自主的に参加した。	・今後も生徒が挑戦しようとする機会を与えるための場を設定していく。 ・生徒がいろんなことに挑戦するように声かけ，励ましを行う。
★	地域に貢献し活力を生み出す学校をつくる	「健康の町」づくりへの貢献	○保健指導で「未成年者飲酒防止」の取組を行った。飲酒状態体験ゴーグルでの体験，パッチテストによる自分の体質を知る事等を学習し，それを家庭へ伝えるという活動を行った。またDVDにまとめた物を地域へ発信した。この取組が認められ「第13回未成年者飲酒防止キャンペーン」の最優秀学校賞を受賞した。	○今後も保健指導において習得した内容を家族に伝え，地域全体の健康づくりの一部を担う活動へと取組を広げる活動を行う。
		「絆の町」づくりへの貢献	○「蚊が0研究」の取組を全校生徒で進めた（県科学賞の受賞）。 ○せとうち海援隊の取組が「呉市青少年の善行」で団体賞を受賞 ○文化活動発表会での創作劇，ロマンクッキーの企画の成功 ○学習したことを家族に伝えていく取組	○「蚊が0研究」で学んだことを地域に広げていく。
		「芸術の町」づくりへの貢献	○文化活動発表会における創作劇などの各学年による学習の発表 ○プロのバレエ団による「白鳥の湖」の鑑賞 ○文化活動発表会での合唱	・来年度も芸術鑑賞事業に申込みを行う。

様式4　　平成27年1月29日

平成26年度　　学校関係者評価及び改善策

（　中間・(最終)　）　　広南中学校区　校番　2　学校名　呉市立広南中学校

評価項目	※評価	理由・意見
目標，指標の設定の適切さ	A	○授業観察を通して，各教科の先生方が生徒の学力・学習意欲の向上に向けて，指導の工夫をされているのがよく分かった。また，「温故挑新」を掲げ，「健康の町」「絆の町」「芸術の町」づくりなど，具体的な地域貢献の方向性を明らかにしている点もよかったと思う。
目標達成のための方策の適切さ	A	○学習意欲と学力の向上に向けて，週一回の相互参観授業や基礎教科である数学科のTT指導，帰りの会での学力補充時間の確保等，新たな試みと確実な実施は高く評価できる。 ○挑戦心の高揚に向けて，各種検定の受検や様々な大会への参加，さらに，郷土愛や自尊感情の高揚に向けて，「3つの地域への貢献」の方策も適切で，大きな成果が出たことも高く評価できる。
自己評価の結果と分析の適切さ	A	○各項目において，アンケートや学力調査を基にした詳細な分析がなされており，先生方の教育に対する熱意を感じるが，「探究」など，一部の項目において，生徒や教員の実態をしっかりと把握した上で，今後の指標や目標値を設定すればさらに良い。
今後の改善策（案）の適切さ	A	○具体的な改善策が考えられ，適切である。今後も，学校の取組や成果と課題及び改善策を，保護者や地域により一層情報発信し，学校に対する協力体制の強化を図ってほしい。
その他	○ホームページやメール配信による意欲的な情報発信を高く評価します。 ○生徒の学習意欲と学力の向上，また，地域への貢献を通した絆づくりなど，新たな取組の発想や意欲は素晴らしいと思います。今後も，挑戦心をもった子どもの育成をよろしくお願いします。 ○1学期の時と比べ，生徒の姿勢がよくなり，生徒が授業を楽しそうに受けていました。一方で，鉛筆の持ち方やノートの書き方等，小学校段階から取り組むべき課題も見えます。発表時の声の大きさ等，具体的な「学習態度」のポイントを明示し，共有化して取り組むことで，より成果を上げてほしいと思います。 ○従来の行事を継続していくことも大切ですが，学校側の説明にもあったように，生徒の意見も聞いたりしながら，行事の精選，内容を吟味していくことも必要であると思います。	

※　評価は，A（とても適切），B（概ね適切），C（あまり適切でない），D（まったく適切でない），N（分からない）

学校関係者評価を受けての今後の改善策	○ 来年度に向けて小中の異学年交流などの各種行事などの見直し・精選を進める。また，小学校段階から躾けなければいけない点などを，もう一度整理し，小中一貫教育がさらに効果的なものになるように改善していく。 ○授業改善に向けて，相互参観授業の手法がマンネリ化しつつある。小学校との合同授業研究等を企画・実践して校内研修の充実を図る。 ○ICT研修による授業改善は，教職員にとってハードルが高く，全体のものにはならず，成果を上げていない。「中国新聞の記事検索システム」の研修など，より活用しやすいものをターゲットにした研修を3学期中に実施する。 ○ 「習得・活用・探究」の研究テーマに向けて，理科・体育では大きな成果を上げた。これを全体のものにしていくために，「探究」をテーマにした総合的な学習の時間のカリキュラムマネージメントと，「習得→活用」をテーマにした授業改善を二本柱とした研究組織の再編成を検討していく。